

【いじめをしない させない 見逃さない 白根小】

令和7年3月号

新潟市立白根小学校 学校だより



白小だより

【教育目標】

ゆたかに
かしこく
たくましく

【白根に生きる子ども～白小を大好きな子 白根を愛する子 白根を考える子～】を目指して!



締めくくりの3月!



新しいスタートに向けて!



★皆様のご支援・ご協力に感謝いたします★



令和6年度もあと2週間あまりとなりました。白根小学校では、3月19日(水)に後期終業式、21日(金)に第147回卒業証書授与式(5年生参加)を行います。

今年度は、【いじめをしない させない 見逃さない 白根小】を目指して、学校全体で「いじめの未然防止」の取組を重点として、さまざまな教育活動に取り組んできました。

いじめが全く無くなることはまだまだ難しい状況ではありますが、こうして令和6年度の教育活動を修了することができるのも、ひとえに保護者の皆様、地域の皆様の深いご理解と温かなご支援、ご協力のおかげと、教職員一同、心より感謝を申し上げます。

入学当初は、ランドセルが重そうだった1年生も、2年生の顔になってきました。それぞれの学年の子どもたちも1学年ずつ進級します。6年生はいよいよ中学生です。470名の白根っ子たち一人一人の成長を感じます。

3月22日(土)～4月6日(日)まで学年末・学年始休業となります。3月24日(月)は離任式のため、登校となります。学年末・学年始休業中は、生活のベースが家庭や地域となります。是非ご家庭で、子どもたちの生活に目を配っていただければと思います。私たち教職員は、4月に万全の体制を整えて、子どもたちを迎えることができるよう準備をいたします。1年間のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。御礼とさせていただきます。本当にありがとうございました。

校長 井浦 順子

「白根っ子のいいね!」発見

～自分からあいさつできる白根っ子たち～

毎朝、児童玄関前に立っていると、自分から「おはようございます」とあいさつしてくれる白根っ子たちが、とても多くなってきているのを感じます。9月からは、朝、運営委員会の子もたちが児童玄関前に立って、「おはようございます」のあいさつをしてくれています。

さて、あいさつについて、3つのタイプの人がいると言われています。

- ① 1つ目「自分からあいさつする人」
- ② 2つ目「相手がしたらあいさつする人」
- ③ 3つ目「あいさつしない人」

1番いいのは、「自分からあいさつする人」です。

では、なぜ自分からあいさつするのがいいのでしょうか。

自分から先にするのは「勇気」がいるのです。その勇気がある人は、何事にも積極的にがんばれるかもしれません。

また、自分からあいさつする人には、「笑顔」があるのです。笑顔で自分からあいさつができれば、自分もまわりもあかるくなりますね。だから、自分からあいさつすることがいいのです。

小学生のうちに「自分からあいさつができる」ようになっていけば、大人になっても大丈夫です。

白根っ子の皆さんが、一人残らず自分からあいさつできる人になってくれるといいなあと願っています。

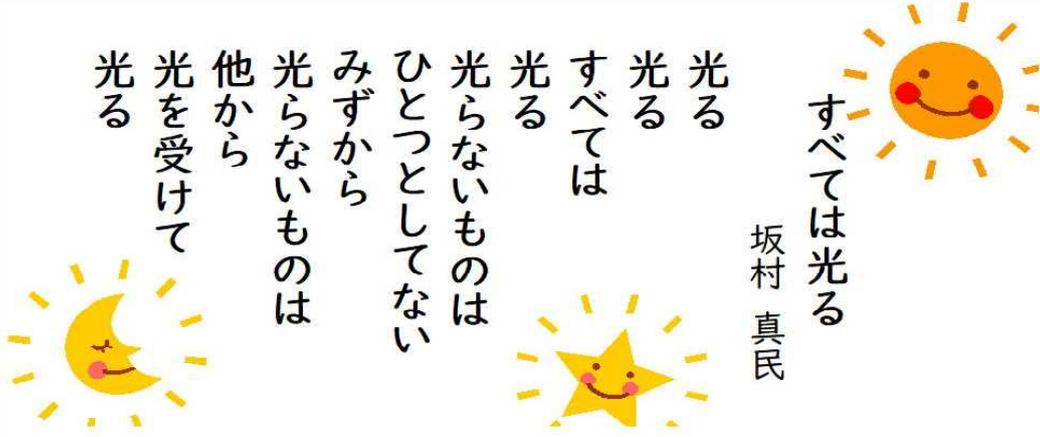
★運営委員会の皆さんによる朝のあいさつ活動の様子



白根っ子たちへのメッセージ ～すべては光る～

光る 光る すべては 光る 光る
光らないものは ひとつとしてない
みずから 光らないものは 他から 光を受けて 光る

すべては光る
坂村 真民



★3月19日(水)の後期終業式で、坂村 真民(さかむら しんみん)さんの「すべては 光る」という詩を紹介します。作者の坂村真民さんは、熊本県生まれの詩人です。

★この詩は、「坂村真民一日一言」の中に納められています。たくさんある素敵な作品の中で、一番心に残ったこの詩を、私が二十年前に白根小で学級担任をしていた時からいつも教室に掲示して、これまで出会った子どもたちに伝えてきた大好きな詩です。

「光る 光る すべては光る」

いのちあるものすべてが光るのです。誰もが何か光るものを必ずもっているのです。そして自分自身を光らせるのは、自分自身です。「やればできる」「がんばろう」「今自分にやれることをやり通そう」そんな思いを忘れないでほしいと思います。

白根っ子の皆さんは、人生の最初のスタート地点をスタートしたばかりです。宝石で言えば輝く前の原石です。これから、様々な困難を乗り越えて、いろいろ挑戦して、磨かれ、光り輝いていくのです。

自分には「そんな光るものなんかないかもしれない…」と思うかもしれません。でも

「光らないものは ひとつとしてない」のです。

しかし、すべて自分の頑張りだけで、輝けるわけではありません。皆さんの頑張る姿を、必ず誰かが見えています。応援しています。月が太陽の光を受けて美しく輝くように、

「自らから光らないものは

他から光を受けて光る」こともできるのです。

そして、少し心豊かになれた時は、誰かに光を当てることができる存在であって欲しいと思います。自分自身も、そしてみんなもすべてが、光り輝く大切な存在なのです。

470名の白根っ子の皆さんのこれからの活躍を期待して、エールを送ります。

「光れ 輝け 白根っ子たち！」

進級&進学へ向けて

～締めくくり～

わたしが大好きな詩を紹介します!

—『坂村真民一日一言』より—



光る 光る すべては光る

自分を光らせるものは「自分」です。
「やればできる!」「がんばろう!」
「やれることをやり通す」
そんな気持ちを忘れないでください。

光らないものは ひとつとしてない

「自分にはそんな光るものなんかないかもしれない…」と思うかもしれませんが、でも、「光らないものはひとつとしてない」のです。誰もが、何か光るものをかならずもっているのです。

自ら光らないものは 他から光を受けて光る

月が太陽の光を受けて美しく輝くように、「他から光を受けて光る」こともできるのです。また、誰かに光を当てることができる存在であって欲しいと思います。誰かのために頑張れる自分もとてもすてきです。

光る 光る すべては光る

自分も、みんなも、すべてが
光り輝く大切な存在です。